

令和4年度 山村活性化支援交付金事業実施評価書

1. 事業名 山村活性化対策事業

2. 事業実施主体名 白萩地域山村活性化協議会

3. 事業概要

・事業目的

白萩地域が有する豊かな森林資源を活用した「香り文化」推進プロジェクト、純国産「メンマ」プロジェクト及び自然観光資源の再発見・活用推進プロジェクトの取り組みにより、地域の就業の場の確保、所得の向上及び雇用の増大を図り、地域の活性化、自立及び維持発展を推進する。

・事業費・交付額 事業費 5,705,962円 交付額 4,921,895円

・事業実施期間 令和4年4月28日 ～ 令和5年3月31日

4. 実績評価

(1) 目標の達成状況等の総合的評価

事業目標の成果指標については、「精油商品販売額」、「タケノコ商品販売額」、「新規雇用数」、「商品開発数」、「ツアー・体験プログラム及びイベント参加者数」を設定した。令和4年度目標値を達成したのは、「新規雇用数」、「ツアー・体験プログラム及びイベント参加者数」、未達成となったのは、「精油商品販売額」、「タケノコ商品販売額」、「商品開発数」であった。

・「精油商品販売額」については、新商品開発に注力し、また、人手不足もあり積極的な営業活動が行うことができず、令和4年度の実績値(5,220千円)に対し、目標値(6,000千円)を下回り、達成率は87%であった。

・「タケノコ商品販売額」については、展示会で各専門家・バイヤーから指摘のあった改善点の改良に時間を要しており、販売時期を来年度に先延ばししたため、目標値の36千円に対し、実績値は0千円となった。

・「新規雇用数」については、実績値(5名)に対し、目標値(2名)を上回り、達成率は250%であった。

・「商品開発数」については、実績値(2品目)に対し、目標値(3品目)を下回り、達成率67%であった。令和3年度はコロナ禍でもあり、各種イベント等が中止となるなか、商品開発に専念し(令和3年度の実績値(5品目)に対し、目標値(1品目))、令和4年度はその商品の改良に時間を割いたため未達成となった。

・「ツアー・体験プログラム及びイベント参加数」については、実績値(416人)に対し、目標値(340人)を上回り、達成率は122%であった。

(2) 取組状況

ア 「香り文化推進プロジェクト」

・香りに対する消費者ニーズを把握するため白萩地域の樹木から採取した精油の試香や精油の抽出後の残渣を使用したクラフト体験ができる「香りの収穫祭」イベントを開催した。

・商品開発した精油において、首都圏の消費者の反応を探るため「くすりの富山 美と健康フェア」のイベントに参加し、市場調査を実施した。

・当該地域で採取したクロモジから抽出した精油の成分分析を行った。

・精油の抽出時に副産物として得られる芳香蒸留水の有用性について実証を行った。

イ 純国産「メンマ」プロジェクト

・フリーズドライ、レトルト用の試作品づくり、細菌検査を行った。

・日本橋富山館での事業紹介及びPR、「FOODEX JAPAN 2023」に出展し、商談を行った。

・イベント「味蔵祭」でのメンマの試食、関係者らによる試食会を開催した。

ウ 自然観光資源の再発見・活用推進プロジェクト

・エコツアーや森林セラピーツアーを企画する地元ガイドグループにおいて、白萩南部小学校を拠点に新たなツアー・体験プログラムを実施した。

・白萩地域の観光資源であるハゲ山の登山口を新たに設け、白萩地域を周回できるよう遊歩道の整備を行った。

(3) 事業実績

ア 「香り文化推進プロジェクト」

- ・「香りの収穫祭」では、商品化した「クロマツ」、「サワラ」の試香を行った結果、来場者の約8割の方に「良かった」、「大変良かった」との評価をいただいた。
- ・市場調査では、首都圏の方ははっきりとわかりやすい香りを好まれる傾向にあることが判明した。
- ・クロモジから抽出した精油の成分分析を行った結果、葉を含む時期、落葉の時期で香りが良いとされる成分に違いがあることを認識、採取する時期の参考となった。
- ・スチーマーによる芳香蒸留水の使用が可能か1か月間実証を行ったところ、スチーマー本体に支障もなく心地よい香りの空間が広がり、体験イベント等で使用できることがわかった。

イ 純国産「メンマ」プロジェクト

- ・メンマのフリーズドライ、レトルト加工商品を試作したが、フリーズドライ加工の試作品の食味・食感が微妙であったことや、細菌検査では細菌が検出されたこともあり、改善に時間を要するためフリーズドライ加工は断念し、加工前の状態と大差のなかったレトルト加工の商品開発を進めた。

- ・日本橋富山館では、純国産メンマのチラシの配布と取組み内容を紹介した。「FOODEX JAPAN 2023」では、試作品の食味に関して評価が高かった一方、各専門家・バイヤーからは、試作品の改善点、ユーザーが求めているものや情報発信の仕方など、売れる商品に繋がるヒントをたくさん得ることができた。

- ・「味蔵祭」、「試食会」では、メンマ商品の「つるぎの竹菜(2種類)」、「ごちそうの具(3種類)」を試食してもらい、来場者、参加者からは、高い評価を受けた。また、住民らによるチーム「竹取キッチン」を結成し、商品の改良、新商品の開発を進めた。

ウ 自然観光資源の再発見・活用推進プロジェクト

- ・地域住民の協力を得ながら、白萩地区のフィールドで地域資源を活用した新たなツアー・体験プログラム(「種集落タイムスリップツアー(石臼でのもちつき体験)」、「種のじいじの手作りかんじき、棚田でジャンプツアー)」を行うことができ、地域住民との交流が生まれ、良好な関係性を築くことができた。

- ・4月に新ルートの遊歩道整備に着手し、11月29日に関係者を招いて「西山遊歩道(ハゲ山山頂まで約1.4km)」の完成報告会を行った。西山遊歩道が完成したことで、登りと下りを別ルートで迎えることができ、様々な景色を楽しめるものとなった。

(4) 実施体制

当協議会では、3つのプロジェクト(「香り文化」推進プロジェクト、純国産「メンマ」プロジェクト、自然観光資源の再発見・活用プロジェクト)を推進し、各プロジェクトのリーダーが中心となり、関係団体等と連携しながら活動を行っており、現在の体制は機能していることから今後も維持していく。

(5) その他事項

なし

5. 事業実施結果

・目標達成状況

	指標	目標値	実績値	達成率
・精油商品販売額		6,000千円	5,220千円	87%
・タケノコ商品販売額		36千円	0千円	0%
・新規雇用数		2人	5人	250%
・商品開発数		3	2	67%
・ツアー・体験プログラム及びイベント参加数		340人	416人	122%

(計測方法)

- ・精油商品販売額 … 月次活動報告書、決算報告書 (㈱プロジェクトデザイン AROMA SELECT資料より)
- ・新規雇用数 … 作業日報、活動日誌
- ・商品開発数 … 令和5年度総会資料、活動日誌
- ・ツアー・体験プログラム及びイベント参加数 … ガイドグループ「トコトコ」のエコツアー参加人数実績

・所見

開発した商品を多くの方々の目に留めてもらうため、イベント等への参加、SNSによる情報発信を積極的に行っていく。